

令和 7 年度

小豆島町ナラ枯れ防除事業（伐倒くん蒸）実施設計書

小豆郡小豆島町

事 業 費	区 分	設 計 金 額	請 負 金 額	摘 要
	実施設計			(請負比率)
	変更設計			
	差引増減			減額の場合は△印を附すこと
事 業 概 要	実施設計	変更設計	変更理由	
	伐倒くん蒸 50 m ³			

設計金額・請負金額対象内訳表

	積 算 金 額		請 負 金 額	
実 施 設 計	事 業 價 格		請 負 事 業 價 格	請負比率()
	消 費 稅 相 当 額		消 費 稅 相 当 額	
	設 計 金 額 (請負事業費)		請 負 金 額	
変 更 設 計	事 業 價 格		請 負 事 業 價 格	
	消 費 税 相 当 額		消 費 税 相 当 額	
	設 計 金 額 (請負事業費)		請 負 金 額	
増 減 額	事 業 價 格		請 負 事 業 價 格	
	消 費 税 相 当 額		消 費 税 相 当 額	
	設 計 金 額 (請負事業費)		請 負 金 額	

経費計算条件

項目 名 称	選 択 内 容	摘要
単価地区	小豆地区	
単価適用年月	令和7年9月	
歩掛適用年月	令和7年9月	
設計年月	令和7年9月	
傾斜による補正	補正しない	傾斜角度30度未満
距離による補正	補正しない	車道からの距離1km未満
消費税率の選択	10%	

設 計 委 託 費 內 訳 表

単価表

第1号単価表

伐倒費（伐倒・枝払・玉切）・集積費

1 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名称 / 規格・条件	数量	単位	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
特殊作業員		人					第7号単価表
普通作業員		人					第7号単価表
合計							

単価表

第2号単価表

薬剤費

1 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名称 / 規格・条件	数量	単位	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
くん蒸剤/キルパー40		リットル					第8号単価表
	0.75						
くん蒸剤/NCS		リットル					第8号単価表
	1.0						
材1m ³ 当り1本							平均単価（キルパー40, NSC）

単 価 表

第3号単価表

薬剤処理費（くん蒸作業費）

1 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名 称 / 規 格・条 件	数 量	单 位	单 価	金 頓	数量増減	金額増減	摘 要
普通作業員		人					第7号単価表
合計							

単 価 表

第4号単価表

機械器具損料

1 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名 称 / 規 格・条 件	数 量	单 位	单 価	金 頓	数量増減	金額増減	摘 要
チェーンソー/2サイクル/ガイドバー40~50cm		式					第11号単価表
	1.00						
合計							

单 価 表

第5号単価表

機械器具燃料

1 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名称 / 規格・条件	数量	単位	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
チェーンソー/2サイクル/40~50cc		式					第9号単価表
	1.00						
合計							

単 価 表

第6号単価表

被覆資材費

0.4 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名称 / 規格・条件	数量	単位	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
くん蒸用ポリシート/3.6×4.0m		枚					
	1.00						
補修テープ/幅80mm×20m		個					
	0.05						
合計							
1m ³ 当り							

単 価 表

第7号単価表

労務単価

1 人当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名 称 / 規 格・条 件	数 量	单 位	单 価	金 頓	数量増減	金額増減	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
軽作業員		人					

单 価 表

第8号单值表

薬剤単価

1 リットル当たり
[上段：前回情報 下段：今回情報]

单 価 表

第9号单值表

チェーンソー燃料費

1 m²当り
[上段：前回情報 下段：今回情報]

単価表

第10号単価表

燃料・油脂類単価

1 リットル当り
[上段：前回情報 下段：今回情報]

名称 / 規格・条件	数量	単位	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ガソリン/レギュラー		リットル					
	1.00						
混合油/1:20		リットル					
	1.00						
チェーンソーオイル(植物油) エコマーク認定商品/18リットル缶入		缶					
	0.056						
軽油/1.2号		リットル					
	1.00						

单 価 表

第11号单值表

機械器具損料単価

1 m²当たり

[上段：前回情報 下段：今回情報]

名 称 / 規 格・条 件	数 量	单 位	单 価	金 頓	数量増減	金額増減	摘 要
チェーンソー/2サイクル40~50cc/ガイドバー40~50cm	0.00033	式					耐用期間 5,000m ³
							残存率 0.1 消耗品品部品比率0.75 第2号積算資料
合計							

積算資料

第1号積算資料

標準作業工程

1 m³当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

区分	単位	作業人数	数量増減	備考
伐倒・枝払・玉切	人			
集 積	人			
くん蒸作業費 くん蒸場所整地	人			
被覆材運搬	人			
シート被覆	人			
くん蒸作業	人			
被覆材撤去	人			
くん蒸作業費 合計	人			

積算資料

第2号積算資料

使用機械基礎価格算定

1 台当り

[上段：前回情報 下段：今回情報]

チェーンソー				
規 格	2サイクル ガソリンエンジン 40cc～50cc程度			
メー カー	型式	排気量(cc)	販売価格(千円)	ガイ ドバー (cm)
共立	CS480/45RV21	50.2		45
〃	CS43RS	42.9		40
新ダイワ	E1145GSP/450TBP	44.6		45
〃	E1145SP/410TBP	44.6		41
ゼノア	GZ4350EZ	43.1		40
ハスクバーナ	543XP	43.1		45
基礎価格				

積算資料

第3号積算資料

農薬の登録内容

令和5年8月31日現在

農薬名（成分名）	作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	くん蒸時間	使用時期	使用回数	使用方法
キルパー40 (カーバムナトリウム 塩)	樹木類 (伐倒木)	-	カシノナガキクイムシ	被覆内容積1立方メートル当たり 原液750mL	14日間以上	成虫羽化 脱出前	1回	加害された伐倒木を集積し、所定薬量を散布し、直ちにビニールシート等で密閉し所定期間くん蒸する。
NCS (カーバム)	樹木類 (枯損木)	林地	カシノナガキクイムシ	被覆内容積1立方メートル当たり 原液1.0リットル	14日以上	-	1回	加害された枯損木を配置し本剤を散布し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸する。
ヤシマNCS (カーバム)	樹木類 (枯損木)	林地	カシノナガキクイムシ	被覆内容積1立方メートル当たり 原液1.0リットル	14日以上	-	1回	加害された枯損木を配置し本剤を散布し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸する。

森林害虫等防除事業（伐倒駆除・特別伐倒駆除）の補正について

事業地の平均傾斜が 30° 以上の場合及び事業地の中心が車道から1,000m（但し直高1m登るごとに6m加算）以上離れている場合、歩掛けを補正する。ただし、伐倒駆除の乳剤使用時の薬剤調合、特別伐倒駆除における末木枝条等集積・焼却及び積み込み積卸に関する歩掛けについては補正をしない。

補正歩掛=標準歩掛×{1+(傾斜による補正係数+距離による補正係数)}（小数点第3位を四捨五入する）

・傾斜による補正について

平均傾斜が 30° 以上の場合は、0.2の補正係数を適用する。

<平均傾斜の求め方（起伏量による方法・・・森林土木ハンドブック p682～p683より）>

5,000分の1の地形図におとした事業実施区域を1cmの方眼に区分し、各方眼に内接する小円を描き、この円内にある等高線の本数を求める。全ての小円の等高線数を求めたものを平均し、平均傾斜を求める。

山頂付近で1本の等高線が円内に2度あらわれる場合には、2本と数え、閉曲線の入る場合には1本と数える。

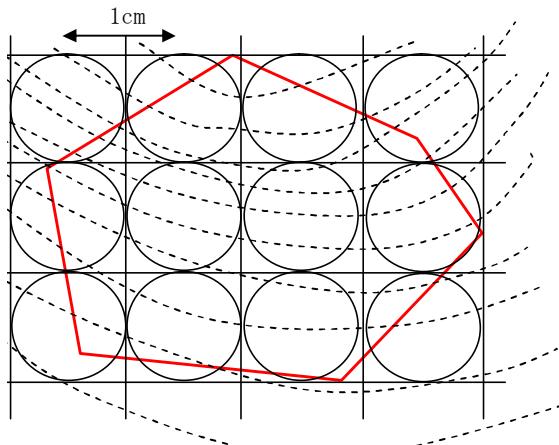
事業実施区域が全て含まれるよう方眼を設定するが、小円の中に墓地や住宅地などの等高線が明らかでないものが含まれる場合には、その小円を除外する。

傾斜角は次式により求める。

$$\tan \theta = \frac{\text{等高線の間隔 (m)}}{\text{方眼の大きさ (m) } \times \text{図の縮尺}} \times \text{円内の平均等高線数}$$

例) 等高線の間隔10m 縮尺5,000分の1 方眼の大きさ1cm の場合

下記の図のように方眼とそれに内接する小円を描く。



この場合の小円は12つで、

等高線が4本の円 3つ

3本の円 4つ

2本の円 5つ

平均等高線数 $(4 \times 3 + 3 \times 4 + 2 \times 5) / 12 = 2.833$

$\tan \theta = \{10 / (0.01 \times 5,000)\} \times 2.833 = 0.5666$

$\tan 30^{\circ} = 0.57735$ であるので

$\tan \theta \geq 0.57735$ の場合は平均傾斜角度は 30° 以上

$\tan \theta < 0.57735$ の場合は平均傾斜角度が 30° 未満。

したがって、この例の場合、平均傾斜は 30° 未満。

・距離による補正について

事業地の重心から車道までの直線距離が1,000mを超えた場合、0.05の補正係数を適用する。ただし、直高1m増すごとに、距離に6mを加える。重心については、プラニメーター等を利用して出すものとする。